

# 定着してきた「読書の街づくり」 第3回手づくり絵本コンクール表彰式

12月18日、矢祭町子ども読書の街づくり推進会議がユール矢祭で開催され、多くの関係者と来賓、そして平成大学生が出席いたしました。

会議は、矢祭男女混声合唱団の華麗な歌声で始まり、矢祭町子ども読書の街づくり推進会議の富永盛彦委員長のことばで開会。主催者の町長が「矢祭町は全国に先駆けて、手づくり絵本コンクールを開催し3年目を迎えた。全国から素晴らしい絵本の応募が多数あり、心から感謝したい。今年は東日本大震災でたいへんな年だが、幸い本町は被害が少なく例年通り行事が出来ることはありがたい」と挨拶を述べました。その後、もったいない図書館の支援者である佐野茂さん（東京都）から、町内小学校ももったいない図書館、館本文庫に図書が寄付があり、それぞれの代表者に贈呈されました。

続いて、第3回矢祭町もったいない図書館手づくり絵本コンクール表彰式が行われ、一般の部入賞者7名と特別賞1名、家族の部入賞8家族を表彰し、審査委員長の柳田邦男先生から一作品ごとに丁寧な選評が行われました。そして最優秀作品の一般の部「かげねこ」家族の部「つながるつながる」が、矢祭子ども司書受講生により映像とともに朗読され、手づくり絵本の質の高さを出席者にアピールしました。終わりに最優秀受賞者の佐々木香織さんと高垣美和子さん親子から謝辞が述べられ、表彰式を閉じました。

次にノンフィクション作家柳田邦男先生と絵本作家あべ弘士先生による「いのち・こころ・きずな」をテーマとした対談とふれあいトークが行われました。そして最後に矢祭町子ども読書の街づくり推進会議佐川正一郎副委員長のことばで閉会すると、会場では柳田邦男先生の本の即売会とサイン会が行われ、終始なごやかな雰囲気の中で幕を閉じました。



作品を鑑賞する出席者



会場のようす

